

試験日 ： 2026 年 2 月 21 日（土）
入試種別 ： 大学院入学試験(4 月入学)修士課程 春期試験
学部・研究科： 文学研究科 仏教学専攻
科目名 ： 専門科目

解答又は解答例

【問 1】は、3 つの「事項（三蔵・六波羅蜜・念仏）」の中から一つを選び、解説することを求めた問題である。

選択問題であるので、個別の合格基準を示す。「三蔵」は、その成立過程、経・律・論のそれぞれの内容等の概要が書かれてあれば良い。「六波羅蜜」は、大乘仏教の修行実践であること、6 つの項目の内容等の概要が書かれてあれば良い。「念仏」は、インド・中国・日本にわたるその意義や役割の変遷等の概要が書かれてあれば良い。

【問 2】は、 3 人の「人物（無著・真谛・行基）」の中から一人を選び、解説することを求めた問題である。

選択問題であるので、個別の合格基準を示す。「無著」は、インドにおける年代・思想・唯識学派の中国日本へ影響等の概要が書かれてあれば良い。「真谛」は、活躍年代、訳経僧としての意義や翻訳の特徴、具体的な翻訳仏典等の概要が書かれてあれば良い。「行基」は、活躍年代、民間布教や社会事業の意義等の概要が書かれてあれば良い。

【問 3】は、3 点の「文献（『涅槃経』・『大智度論』・『釈摩訶衍論』）」の中から一つを選び、解説することを求めた問題である。

選択問題であるので、個別の合格基準を示す。「涅槃経」は、パーリ文献としてのもの(Mahāparibbāna-sutta)と大乘のもの(『大般涅槃経』)とがある。それぞれの特徴や性格や数種の異訳の意義等の概要が書かれてあれば良い。「大智度論」は、仏教百科事典的性格、作者問題、大乘仏教中の位置づけ等の概要が書かれてあれば良い。「釈摩訶衍論」は、『大乘起信論』の註釈書としての性格、作者問題、その内容や位置づけ等の概要が書かれてあれば良い。

【問 4】は、『中論』巻第四の漢文を読んで、何が書かれているかを解説することを求めたものである。

青目釈鳩摩羅什訳の『中論』の中で、龍樹の主著『中論頌』のうち、著名な「三諦偈」と言われる第 24 第 18 偈に関する注釈部分を提示した。当該箇所を書き下し文を作

成しつつ、仏教用語を一般用語や現代用語に言い換えるなどして、意味の通る日本語にすることが求められる。また、縁起・空・仮名・中道を併置した龍樹の思想や鳩摩羅什の翻訳の特性についても確認したい。